沖英寮便り10月（沖英寮祭特集）

10月11日（日）は豪徳寺商店街さんとコラボで祭りを開催しました

掲載されている画像、文章は転載を禁止します。

記載責任者　寮監　儀間清浩

寮長挨拶（祭りのお客さんに対して）

こんにちは、私たちは沖縄県学生寮　沖英寮です。私たち沖英寮は毎年豪徳寺商店街の皆さんと一緒に沖縄祭りを開催しています。沖英寮としては２８回目、商店街とコラボしてからは記念すべき２０回目を迎えました。先ほど披露したのは、沖縄の伝統芸能のエイサーです。先ほどの曲は「ミルクムナリ」でした。そしてこの後もう一曲「島人の宝」という曲に合わせてエイサーを披露します。続いて、今回初となる寮生による沖縄空手の演舞が行われます。是非、ご注目ください。また、沖縄県の企業さんよりご協力いただいた県産品や手作り民芸品も販売しています。是非、お立ち寄りください。さらに、今回これまた初めての試みで「紅型染め体験」を用意しました。たくさんの方のご来場をお待ちしております。是非、最後まで楽しんでいってください。

（Ｆ.Ｆ　お茶の水女子大学１年）



物品販売

沖縄県企業様よりご協力いただきました県産品を商店街通りにある「お休み処」を提供いただき販売しました。どれも人気商品で立ち寄るお客さんが途切れることはありません。











お客さんとの会話を楽しみました。
笑顔で元気になりました。

手作り民芸品コーナー

指はぶストラップ、エイサー太鼓ストラップ、美ら玉ストラップ、貝殻を使ったグッズなどを寮母を中心に製作しました。毎年手掛けているうちにクオリティが上がり今年も好評でした。













外人さんと流暢に会話できました、子供たちにも人気でした。

紅型染め体験コーナー（初挑戦）



沖縄工芸の一つに「紅型染め」があります。高校時代に経験のある１年生が中心となり初の挑戦で体験をしてもらいました。出身高校の恩師を訪ねアドバイスをいただきました。準備や下処理、時間的に苦労しました。約１０人の方に体験してもらいました。次回はもっと数を増やそうと計画中です。（S.M　國學院大學１年）





お子様、年配の方、大学生が丁寧に仕上げています。

エイサー（練習から本番まで、そして次へ！）

私はエイサー係として沖英寮祭に向けて９月からエイサー練習を牽引してきました。そして講義が始まった１０月、沖英寮祭当日まで毎日練習することに決めました。練習には予想以上に多くの寮生が参加してくれました。微調整の２年生以上の人、今年入寮したばかりの１年生は持ち前の活気と一生懸命さで練習を盛り上げてくれました。「わたしも頑張らないとな」とやる気がみなぎってきました。演舞では私は前列の中央だったので、他の人の踊りを見ることができなかったのですが、おそらく大満足だったのではないかと思います。皆の太鼓の音が揃って１つの大きな音になる瞬間、やはりエイサーは素晴らしい伝統だなと感じます。これからも沖英寮祭でエイサー披露の伝統が続けるように、更には毎年前年度の迫力を超えるような演舞を披露してほしいなと願います。来年度のエイサーについては現１年生が引っ張っていくものだから何も心配はないです。一緒に練習してくれた先輩や同期、そして後輩へ、本当にありがとうございました。（Y.H　東京大学４年）









沖縄祭り冒頭は豪徳寺駅前にて「沖英寮創作エイサー」で始まります。「ミルクムナリ」、「島人の宝」の曲に合わせて演舞しました。今回より初の「空手道」型を取り入れました。講義、サークル、バイトと調整しつつ練習、練習でした。ウフデーク（大太鼓）も登場しました。

クラフト太鼓製作の手伝い

お客さんを集めて段ボール製の締め太鼓を製作するコーナーです。キットは商店街で販売し製作手伝いをしました。
主に小学生や年配の方が来てくれます。
沖縄の話や東京の話題に花が咲きます。





※エイサーでは太鼓が使われます。大きな太鼓を「ウフデーク」、小型で両面の「締め太鼓」、軽量で片面の「パーランクー」があります。

4回目の寮祭

４年間寮祭に関わる中で自ら行動し課題を見つけて解決する力が身についたと感じています。また、地域の方々に沖縄の文化を喜んでいただけたことを嬉しく思いました。一方で、沖縄の文化を伝える立場でありながら、自分自身も沖縄について知らないことが多いと気づき、地元について改めて学ぶきっかけにもなりました。寮祭の開催にあたり、協力してくださった商店街の方々や企業様に心から感謝しています。多くの方々の支えがあってこそ、寮祭を開催できたのだと思います。４年生となった今、寮祭は人とのつながりを生み自分自身の成長にもつながる大切な機会だったと感じています。社会人になってからもこの経験を活かし社会に貢献するとともに、沖縄の魅力や文化を多くの人に伝え地元に恩返しができるよう行動していきたいです。

（O.R　東洋学園大学４年）

4回目の寮祭

4年間の寮祭は、私にとって挑戦と成長の経験になったと感じています。1年生の頃は先輩や仲間に支えられながらエイサーや物品販売に取り組み、2年生では寮長として寮生をまとめる貴重な経験をしました。毎年、反省を次に活かし、新しいことに挑戦できたのも沖英寮の魅力です。また、地域の皆さまからの温かい声や交流を通じて、寮祭は多くの方々に支えられていることを実感しました。仲間と力を合わせて一つの祭りをつくり上げた経験は、これからも私の財産です。沖英寮で過ごせたことへの感謝を胸に、これからも寮祭を通して沖縄の魅力が多くの方に届くことを願っています。

（Y.K　法政大学４年）